平成３０年度

推薦選抜実施要項

愛知県立三谷水産高等学校

蒲郡市三谷町水神町通２番地１
郵便番号443-0021　TEL(0533)69-2265
FAX(0533)67-7699

愛知県

平成３０年度　愛知県立三谷水産高等学校推薦選抜実施要項

１　推薦選抜募集人員

学　科　・　コース		募　集　人　員		推　薦　選　抜　募　集　人　員
海洋科学科	海洋漁業コース	２０名	４０名	募集人員の30%程度から45%程度
	海洋工学コース	２０名		
情報通信科			４０名	募集人員の30%程度から45%程度
海洋資源科	栽培漁業コース	２０名	４０名	募集人員の30%程度から45%程度
	海洋環境コース	２０名		
水産食品科			４０名	募集人員の30%程度から45%程度

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね５％とし、上記に含む。

２　出願資格

推薦選抜に出願できる者は、本校当該学科の一般選抜に第１志望として出願する者のうち、次の(1) から(3) までの条件及び「３　推薦基準」を満たし、出身中学校長の推薦を得た者とする。

(1)　平成30年３月に中学校を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者であること。

(2)　本校当該学科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。

(3)　人物及び学習成績が優れていること。

３　推薦基準

(1)　「㋐　人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア　運動の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者

(ア) 部活動で３年間努力し、大会に参加した。
(イ) 新体力テストがA段階である。
(ウ) 柔道、剣道、弓道等で段・級を有する。
(エ) 水泳、陸上等の標準記録を突破している。
(オ) 上記(ア)から(エ)以外で優れた能力・適性及び実績等を有する。

イ　文化、芸術、奉仕活動等の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者

(ア) 部活動で３年間努力し、大会、文化祭等で活躍した。
(イ) 奉仕活動、又は、ボーイスカウト、海洋少年団等で３年間活躍した。
(ウ) 珠算検定３級以上、又は、英語検定３級以上を有する。
(エ) 生徒会役員(会長、副会長、書記、会計等)、又は、室長、副室長として活躍した。
(オ) 総合的な学習の時間における活動で、顕著な成果を有する。
(カ) 上記(ア)から(オ)以外で優れた能力・適性及び実績等を有する。

(2)　「㋑　人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「平成30年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

(3)　「㋒　人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」であること。

(4)　「㋓　人物が優れており、進路希望が明確で、将来、水産に関する職業に就く意志を有する者」であり、本校の教育課程を履修する学力を有すること。

(5)　本校の推薦選抜において特に重視すること。

ア　出席状況が良好であり、入学後、学校生活に意欲的に取り組むことができること。

イ　海洋科学科の志願者は、乗船実習に耐え得る健康な身体であること。

４　出願の手続き

推薦選抜志願者は、「入学願書」に加えて、「推薦書」等の必要書類を中学校長を経て本校に提出する。
（「入学願書」は、一般選抜の第１志望校用を使用する。）

５　書類の提出期日　（郵送による場合も、提出締切日時までに必着のこと。）

(1)　「入学願書」、「推薦書」等

平成30年２月21日（水）及び同年２月23日（金）

受付は、２月21日（水）は９時から16時まで、２月23日（金）は９時から15時までとする。

(2)　「調査書」

平成30年２月21日（水）から同年２月27日（火）まで（土曜日、日曜日は除く。）

受付は、２月21日（水）、２月22日（木）及び２月26日（月）は９時から16時まで、２月23日（金）及び２月27日（火）は９時から15時までとする。

6　面接の実施期日

Ｂグループ　　平成30年３月９日（金）

7　面接の実施方法

(1)　推薦選抜の面接は、一般選抜のみに出願した者とは別に行う。ただし、一般選抜の面接を兼ねる。

(2)　推薦選抜の面接においては、自己の特性などを１分間程度で答えさせる質問等を行う。

8　合格者の決定

推薦選抜における合否の判定は、出身中学校長から提出された「推薦書」、「調査書」、その他必要な書類の内容及び面接等の結果を資料として、総合的に行う。

なお、推薦選抜で合格とならなかった者については、一般選抜における校内順位を決定する。

9　合格者の発表日時及び方法

平成30年３月19日（月）　10時

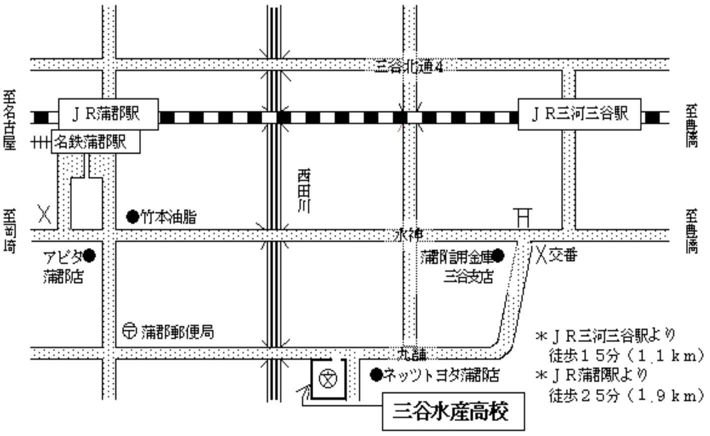
掲示により合格者を発表し、出身中学校長を通じて受検者本人に通知する。

10　その他

(1)　合格者の所属コースについては、合格者発表日に、合格者の発表とあわせて、出身中学校長を通じて本人に通知する。

(2)　出願の手続きに関する問合せは、出身中学校長を通じて本校校長に行う。

【学校付近の略図】



学　校　案　内

1　教育目標

勤労を愛し、不とう不屈の精神と健やかな体を持つ水産・海洋技術者の養成

2　教育方針

(1)　生命の大切さに気づかせ、人間尊重の精神を培う。

(2)　基礎的・基本的な事項の習熟を図り、基礎学力を高める。

(3)　専門的知識と技術を身につけさせ、時代に対応した水産教育を推進する。

(4)　心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

(5)　規律を守り、責任を重んじ、不とう不屈の精神と強健な体力を養う。

(6)　自主性を培うとともに、進んで協調・奉仕する精神を養う。

3　本校の特色

(1)　県内で、「水産に関する学科」が設置されているのは、本校だけである。

(2)　実験・実習を重視するとともに、各種の資格取得に対する指導を進める。

(3)　海洋科学科では、２年生(海洋漁業コース)、３年生(海洋工学コース)で約75日間の乗船実習を行う。また、海洋資源科では、３年生で約８日間の奄美又は小笠原方面の海洋調査実習を行う。

(4)　２年生で、フェリーを利用した北海道洋上研修(修学旅行に相当)を行う。

(5)　海洋科学科、情報通信科には、修業年限２年の専攻科課程が設置されている。

4　学科の概要

(1)　海洋科学科

ア　海洋漁業コース

(ｱ)　目標

近海・沿海における漁業及び船舶の運航に関する知識・技能を習得させ、漁業生産活動の担い手及び海運業や漁業生産物の流通業に従事する人材を育成する。

(ｲ)　進路先

漁業会社、漁業自営、海上運輸会社、漁業協同組合、水産物卸売会社、港湾サービス会社、魚市場、漁網製造会社、運輸倉庫会社、関係官公庁、専攻科･大学･短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ)　取得可能資格

a　本　科　①　一級小型船舶操縦士 ･････ 校内試験合格者免許取得

②　五級海技士(航海)････････ 筆記試験免除

③　海技試験の免許講習 ･････ 免除　　④　二級海上特殊無線技士

b　専攻科　①　三級海技士(航海)　②　一級海上特殊無線技士　③　上級航海英語講習･･･免除

イ　海洋工学コース

(ｱ) 目標

近海・沿海における船舶機関の運転・保守に関する知識・技能を習得させ、船舶及び海運業や関連産業に関する工学的な分野に従事する人材を育成する。

(ｲ) 進路先

漁業会社、漁業自営、海上運輸会社、造船会社、自動車関連会社、精密機器製造販売会社、自動車整備会社、空調・ボイラ関連会社、鉄鋼・鋼管・鉄工会社、関係官公庁、専攻科・大学・短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ) 取得可能資格

a 本 科 ① 一級・特殊小型船舶操縦士･･･校内試験合格者免許取得
② 五級海技士(機関)･････筆記試験免除 ③ 海技試験の免許講習･･･免除
④ 二級ボイラ技士、危険物取扱者(乙種、丙種)、冷凍機械取扱責任者(第三種)、二級海上特殊無線技士

b 専攻科 ① 三級海技士(機関) ② 一級海上特殊無線技士 ③ 上級機関英語講習 ･･･ 免除

(2) 情報通信科

(ｱ) 目標

将来を見通した情報通信に関する知識・技術を習得させ、広く関連産業に従事できる技術者を育成する。

(ｲ) 進路先

情報通信関係会社、電気工事会社、自動車関連会社、関係官公庁、専攻科・大学・短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ) 取得可能資格

a 本 科
① 三級総合無線通信士 ･･･ ３科目免除
② 二級海上特殊無線技士 ･･ 全科目免除
③ 二級陸上特殊無線技士 ･･ 全科目免除
④ 二種電気工事士
⑤ アマチュア無線技士

b 専攻科
① 一級総合無線通信士 ･･･ ２科目免除
② 二級総合無線通信士 ･･･ ３科目免除
③ 一級海上無線通信士 ･･･ ３科目免除
④ 二級海上無線通信士 ･･･ ３科目免除
⑤ 二級陸上無線技術士 ･･･ １科目免除
⑥ 一級陸上特殊無線技士 ･･ 全科目免除
⑦ 一級海上特殊無線技士 ･･ 全科目免除
⑧ 工事担当者ＤＤ第一種
⑨ ＩＴパスポート

(3) 海洋資源科

ア 栽培漁業コース

(ｱ) 目標

水産生物の増養殖に関する知識・技術を習得させ、水産増養殖業経営者及び栽培漁業に関わる技術者を育成する。

(ｲ) 進路先

養魚場、養殖業自営、観賞魚卸売会社、水族館･マリンランド、栽培漁業センター、漁業協同組合、飼料製造販売会社、関係官公庁、大学・短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ) 取得可能資格

一・二級小型船舶操縦士、潜水士、スクーバダイビング(Ｃカード)、危険物取扱者(乙種、丙種)

イ 海洋環境コース

(ｱ) 目標

海洋や陸水の環境に関する知識と保全技術を習得させ、漁場造成等の分野に従事する技術者を育成する。

(ｲ) 進路先

海洋環境調査会社、水質分析会社、養魚場、水族館･マリンランド、自動車関連会社、潜水関連会社、漁業協同組合、関係官公庁、大学・短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ) 取得可能資格

一・二級小型船舶操縦士、潜水士、スクーバダイビング(Ｃカード)、危険物取扱者(乙種、丙種)

(4) 水産食品科

(ｱ) 目標

水産物を中心とした食品の製造から消費にいたるまでの総合的な知識・技術を習得させ、食品製造業や食品流通業及びその関連産業に従事する技術者を育成する。

(ｲ) 進路先

ちくわ等ねり製品製造会社、しょうゆ等の調味料製造会社、佃煮製造会社、缶詰会社、乳製品製造会社、製パン・製菓会社、スーパーマーケット、食品卸会社、冷凍倉庫会社、自動車関連会社、大学・短大及び専修学校等進学、その他

(ｳ) 取得可能資格

二級ボイラ技士、冷凍機械取扱責任者(第三種)、一・二級小型船舶操縦士、危険物取扱者(乙種､丙種)、スクーバダイビング(Ｃカード)、食品技能検定、HACCP技能検定